

校舎配置計画比較検討（案）

		A案 イメージ	B案 イメージ	C案 イメージ	
		小中共有タイプ		小中独立タイプ	
校舎配置イメージ					
	配置計画	動線の確保し易さ	道路に面している部分が多いため、各動線の選択肢が多い。道路からの動線が短くできる。	道路に面している部分が少ないため、各動線の選択肢が少ない。道路からの動線が長くなる。	道路に面している部分が多いため、各動線の選択肢が多い。道路からの動線が短くできる。
		児童・生徒動線と図書館若葉分館との分離	各動線の選択肢が多いため、分離も容易。	各動線の選択肢が少ないため、動線が近接する可能性有り。	各動線の選択肢が多いため、分離も容易。
		児童・生徒動線と学校関係者との分離	同上	2通りのみ	同上
		児童・生徒動線	※図書館及び学校関係者の動線によって、動線決定。		
建物形状	管理諸室と教室等との移動し易さ	平面形状が整形のため、管理諸室を中心とした回廊型の廊下を配置可能。	平面形状が比較的整形のため、管理諸室を中心とした回廊型の廊下を配置可能。	平面形状が細長いため、主に片廊下型となる。ツインタワー型のため、上層階における移動が困難。	
グラウンド計画	グラウンドの形状 ※広さは全て同程度とする	まとまった範囲で確保可能	新校舎と既存体育館により、南北で分断される	まとまった範囲で確保可能	
	冬季の日照	南側に校舎を配置しているため、校舎直近部分の日照少ない	南北に抜けているため、日照多い	南側に校舎を配置しているため、校舎直近部分の日照少ない	
周辺への影響	日影	南側に配置しているため、北側周辺地域への日影の影響が少ない	西側に建物が寄っているため、北西周辺地域への影響が大きい	高層建物となるため、北側周辺地域への影響がある。	
	視線影響 (プライバシー保護)	南西側隣地への影響が比較的少ない	南西側隣地への影響がある	高層建物となるため、南西側隣地への影響がある	